

安達太良山・沼ノ平における地熱活動

—1999年10月～2000年1月—

Geothermal Activity in Numanotaira crater, Adataro Volcano
—October 1999 — January 2000—

仙台管区气象台
福島地方气象台

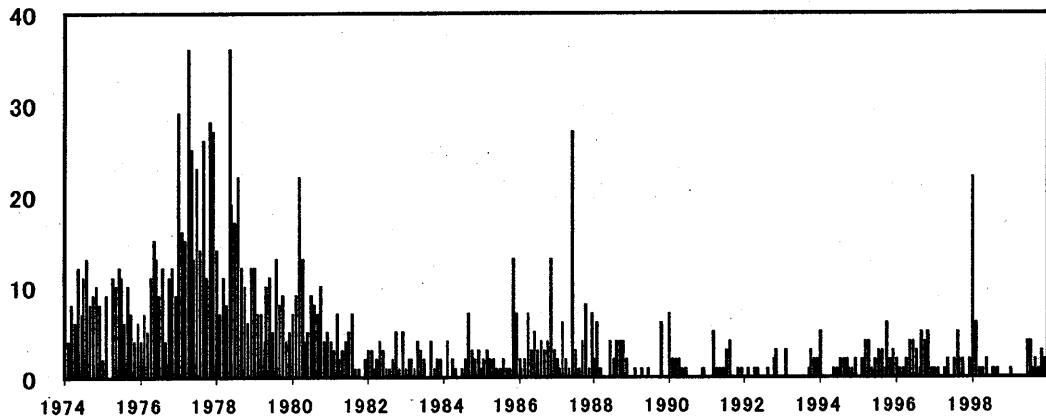
Sendai District Meteorological Observatory, JMA
Fukushima Local Meteorological Observatory, JMA

安達太良山A点における月別地震回数を第1図に、日別微動回数を第2図に示す。本期間（1999年（平成11年）10月～2000年1月）、地震活動に変化はなく、微動は1998年12月30日以降観測されていない。

福島地方气象台は1999年10月26日に現地観測（放射温度観測、目視観測、写真撮影）を実施した。第3図に観測点配置図を示す。沼ノ平西側（沼尻側）の登山道で新たに噴気孔を確認するなど、火口の南西部の変質地帯を含めて噴気活動は依然活発である。

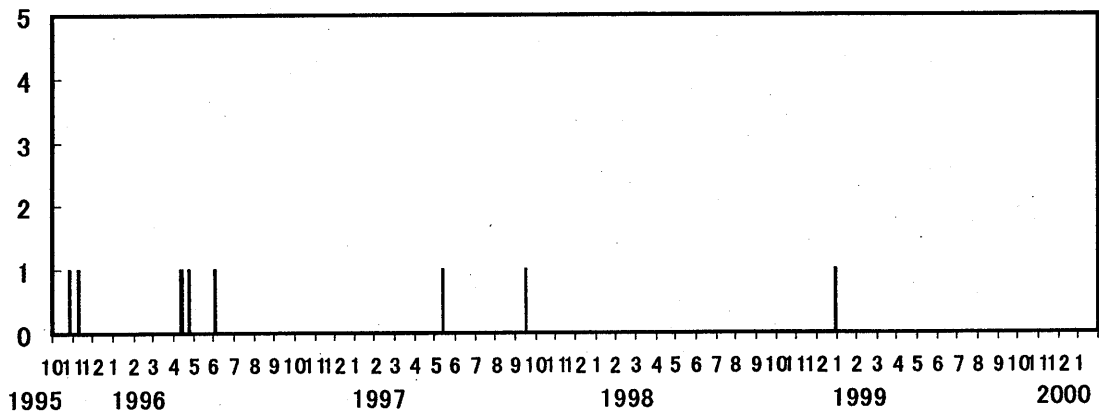
沼ノ平北部の泥水噴出も継続している（噴出口：長径約5.5m、短径約3.5mの楕円形状）。赤外放射温度計による火口底表面の温度観測結果を第4図に示す。過去の変化傾向をみると、年周変化によるものとも考えられる。

火口中央部のY-1観測点の地中温度の変化を第5図に示す。温度の高い状態は続いている。



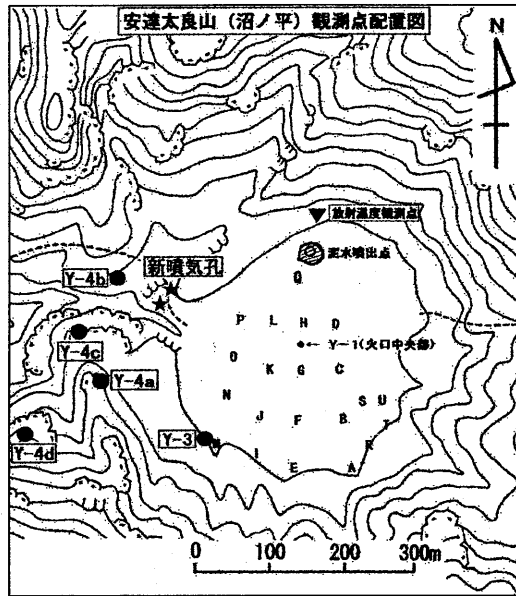
第1図 火山性地震月別回数（A点：1974年1月～2000年1月）

Fig. 1 Monthly frequency of volcanic earthquakes. (seismic station A : Jan. 1974 — Jan.2000)

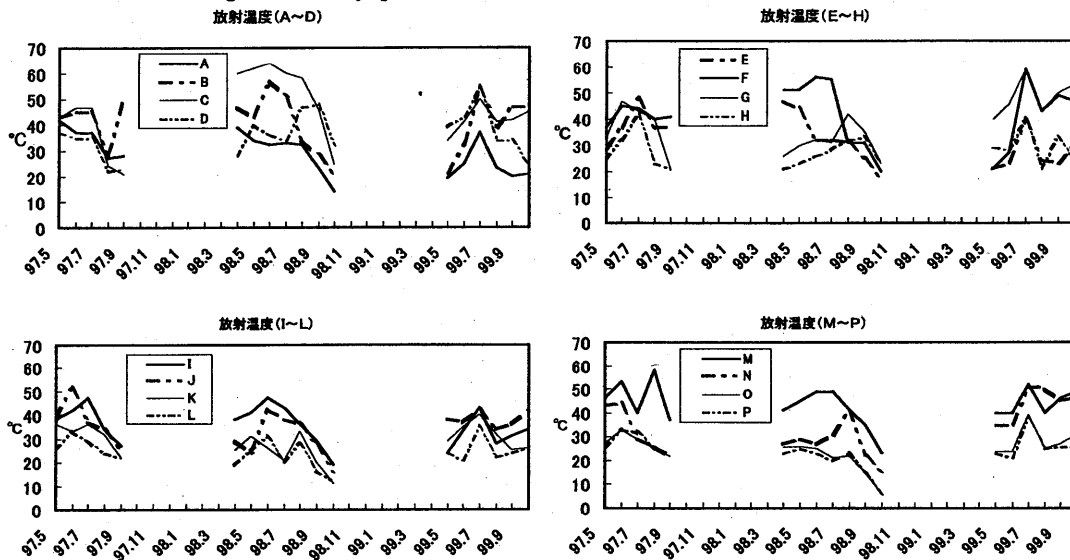


第2図 火山性微動日別回数（A点：1995年10月～2000年1月）

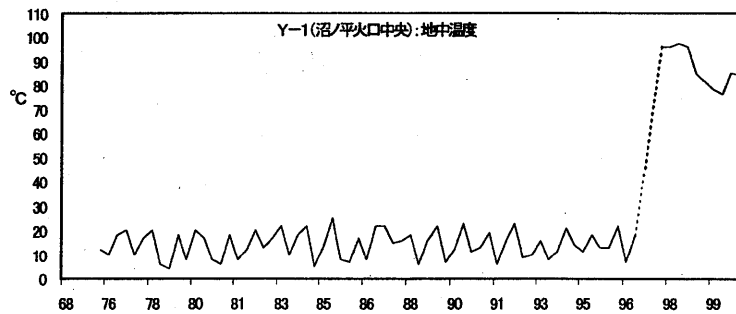
Fig. 2 Daily frequency of volcanic tremors. (seismic station A : Oct. 1995—Jan.2000)



第3図 沼ノ平における現地観測点
Fig. 3 Survey points in observation at Numanotaira crater.



第4図 沼ノ平における赤外放射温度計による表面温度観測結果 (1997年5月~1999年10月)
Fig. 4 Surface temperatures in Numanotaira crater measured by infrared thermal imaging Radiometer, from May 1997 to Oct. 1999.



第5図 沼ノ平中央部 (Y-1) の地中温度 (深さ30cm) (1968年5月~1999年10月)
Fig. 5 Ground temperature at 30cm depth, at survey point Y-1 in Numanotaira crater, from May 1968 to Oct. 1999.